

鳥海ダムだより



国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

2007.1
第13号



大いなる遺産 上郷の温水路群

にかほ市長 横山 忠 長

鳥海山から流れ出す豊富な水は、ふもとの田を潤し、人々の生活を支えています。しかし、鳥海山の水は夏でも10℃前後と冷たく、特に標高約200mの扇状台地にある本市象潟町の上郷地区は、冷水による生育障害との闘いの連続でありました。

この深刻な問題を解決したのが、昭和2年以来、上郷地区に相次いで構築された温水路群であり、この温水路はわが市の先覚の知恵と努力の結晶といえるものです。

温水路に取り組むきっかけとなったのが、大正時代末期に上郷地区上流へ水力発電所の開設計画がもちあがり、上郷地区の各集落に補償金が支払われたこと。長岡集落では、この補償金をもとに温水路を建設することを決めました。

発案者は同集落の篤農家、佐々木順治郎氏。長年の経験から、水温を上げるためには水路の幅を広げて浅くし、できるだけ勾配をなくしてゆっくり流れるようにし、その分段差（落差工）を設けて空気と水を混ぜることを考えました。こうして最初の長岡温水路が完成したのが昭和2年で、この結果、約80haの冷水障害を返上することができました。

この効果を知り、各集落も設置に向けて動き、戦後も新設、改良、増設などが行われ、昭和35年までに大別して5ルート、総延長6.2km、落差工の総数215カ所の温水路群が完成しました。受益面積は上郷地区全水田の66%に当たる533ha、収量は温水路ができる以前に比べ、年間192tの増加となったのです。

この温水路群は、冷水害対策として考案された日本初の施設であるとして平成15年に土木学会選奨土木遺産に認定されています。私はこの大いなる遺産を、単に施設だけでなく、先人たちの一丸となって取り組む精神や協力体制をも受け継いでいきたいと思えます。



平成18年度 先例地調査－北陸地方整備局 横川ダム（8月29日～8月30日）

鳥海ダム建設事業における水没関係者等を対象に、平成18年度の先例地生活再建実態調査を行いました。この実態調査は、将来の移転を円滑に進めるため、由利本荘市と一緒に実施しているものです。

今年度は8月29日～30日に横川ダム（山形県小国町内 北陸地方整備局管轄）を対象に、百宅地区住民等34人が参加しました。

小国町内で行われた研修会・懇談会では、横川ダム工事事務所の関係者等より貴重な体験談等の説明を受け、熱心な情報交換が行われました。

また、現地視察では宮島横川ダム工事事務所長はじめ職員の皆様から工事現場や集団移転地の案内や、工事の進み具合等の説明をしていただきました。



鳥海地域産業文化祭（10月29日）

平成18年10月29日、「第21回鳥海地域産業文化祭」が開催されました。この産業文化祭は鳥海地域の産業・文化活動の成果を一堂に集め、展示・発表する文化祭であり、由利本荘市鳥海地区「トレーニングセンター」において行われました。鳥海ダム調査事務所では、鳥海ダムの目的などをまとめた「パネル展示」コーナーや子供用キーホルダー作りの「工作コーナー」を担当しました。工作コーナーは子供達に大人気で、用意した材料が足りなくなるほどの大盛況となりました。



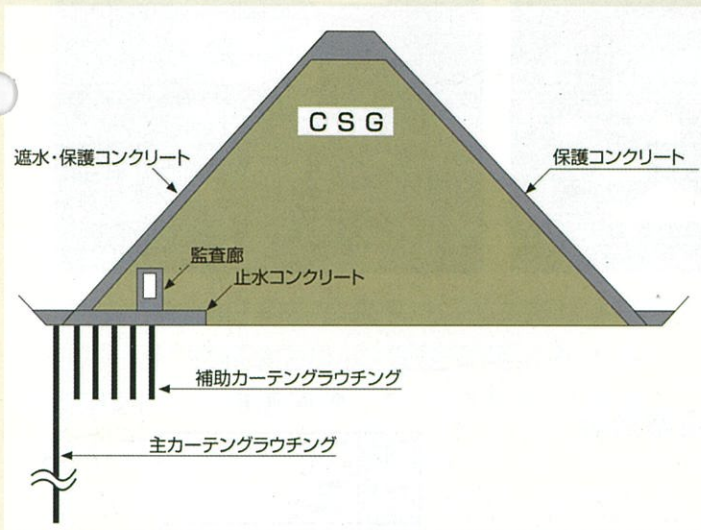
鳥海ダムの概要

鳥海ダムは、ダムサイトの地形・地質や環境への負荷の低減、建設コスト縮減等を考慮し、台形CSGダムという型式で計画しています。ダムの規模は、高さ82.2m、貯水池面積約310ha、総貯水容量は44,100千m³（東京ドーム約36杯分）で、藤里町にある素波里ダムより少し大きい程度を予定しています。

台形CSGダムとは…

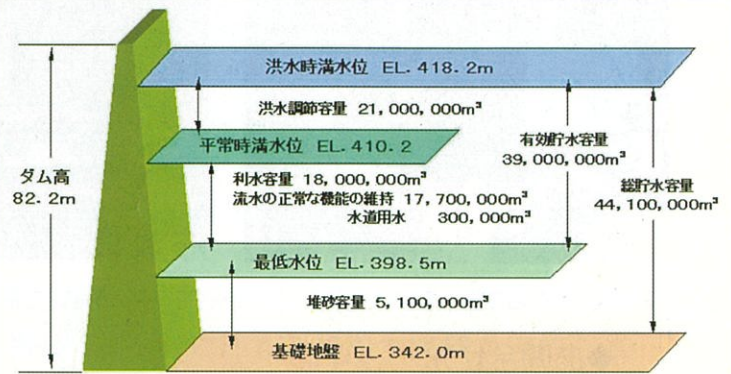
「CSG」とはCemented Sand and Gravelの頭文字で、直訳すると「セメントで固めた砂礫」です。「CSG」はコンクリートのように材料を指す用語です。コンクリートを用いた場合には「コンクリートダム」と呼ぶのと同様に、主な材料にCSG材料を用いたダムで、堤体の断面形状を台形にして安定性を高めることから「台形CSGダム」と呼んでいます。

台形CSGダムの一般的な断面図

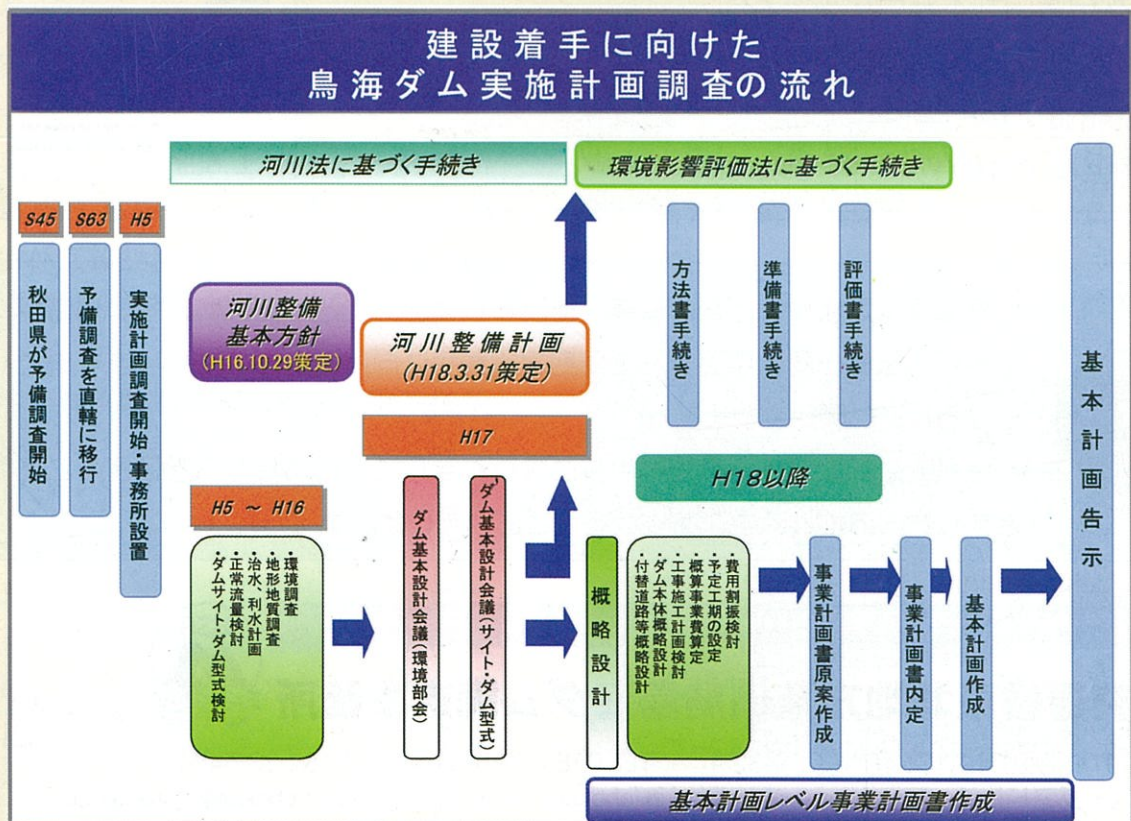


鳥海ダムの大きさ

貯水池容量分配図



※これらの数値は基本計画策定時に確定するもので今後若干変更することもあります。



公開講座・出前講座

市民の皆様には鳥海ダムの目的や効果を知っていただくため、鳥海ダムの公開講座を行っております。今年度は市内各所で公開講座を6回、出前講座を10回行い、約700人（平成19年1月現在）の方のご聴講を頂きました。ご聴講された多くの方からは早期着工のご要望を多数頂いております。

今後も、皆様のご意見・ご質問には出来るだけ判り易くお答えし、ご要望に応えられるよう努めて参りますので、是非ご参加下さい。

公開講座のご案内は、当事務所HP等でお知らせしております。また、出前講座は、各種団体などのご希望に応じて行っております。各種会合の前後でも構いませんので、お気軽に当事務所へご相談下さい。



◆お問合せ先

国土交通省 東北地方整備局 鳥海ダム調査事務所

総務課 森 栄助

調査設計課 加藤 孝

秋田県由利本荘市桜小路32-1

TEL 0184-23-5120

FAX 0184-23-5451

HP <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

申込用紙

申込日	平成 年 月 日
申込者	団体名
	代表者氏名
実施希望日	代表者連絡先
	TEL FAX
実施場所	平成 年 月 日 時から (時間指定)
対象人数	
希望する説明内容	

国土交通省 東北地方整備局 鳥海ダム調査事務所
 〒015-0074 秋田県由利本荘市桜小路32-1
 TEL:0184-23-5120 FAX:0184-23-5451

編集後記

鳥海ダムだよりをご覧の皆様、あけましておめでとうございます。鳥海ダム調査事務所の職員一同、鳥海ダムの早期建設着手に向けて努力して参りますので、本年もよろしくお願いたします。

今号では、にかほ市の初代市長になられました横山市長から巻頭言のご寄稿を頂きました。お忙しい中、ありがとうございました。

編集・発行

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所



ISO14001

〒015-0074 秋田県由利本荘市桜小路32-1 TEL.0184-23-5120 FAX.0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/> e-mailアドレス chokai@thr.mlit.go.jp